

# 短期研究会「有機二次電池研究の最前線2017」プログラム

日時： 2017年2月27日（月）

場所： 愛媛大学メディアホール(愛媛県松山市文京町3)

13時30分	～	13時40分	はじめに		
				愛媛大	御崎 洋二
13時40分	～	14時05分	結晶性キノン材料を用いた有機二次電池		
				産総研	八尾 勝
14時05分	～	14時30分	配位化合物を正極材料とする二次電池の開発		
				関西学院大	吉川 浩史
14時30分	～	14時40分	休憩		
14時40分	～	15時05分	ジスルフィド結合を反応点として用いた正極活物質材料の開発状況		
				米子高専	谷藤 尚貴
15時05分	～	15時30分	キノイド化合物の充放電特性と高電位化に向けた分子設計		
				大阪電通大	青沼 秀児
15時30分	～	15時50分	中国の電池事情		
				大阪府大	杉本 豊成
15時50分	～	16時05分	休憩		
16時05分	～	16時20分	架橋ジスルフィド化合物を配位子とする金属有機構造体の電池特性		
				関西学院大	清水 剛志
16時20分	～	16時35分	ナフタザリン誘導体を正極に用いた有機二次電池： サイクル特性に及ぼすCl基の影響		
				関西大	梅谷 真司
16時35分	～	16時50分	キノン骨格が融合した新規ドナー・アクセプター縮合型分子の合成と有機 二次電池への展開		
				愛媛大	野田 茂伸
16時50分	～	17時05分	シクロヘキセン環を有する融合型TTFの合成と有機二次電池への展開		
				愛媛大	細井 賢
17時05分	～	17時20分	新規拡張型TTFの合成と電池特性		
				愛媛大	尾木 大祐
17時20分	～	18時00分	自由討論		
18時00分	～	19時00分	ポスターセッション		
20時00分	～		懇親会		

